

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		二級河川一宮川水系 一宮川	
事業所管課			河川整備課		事業主体		千葉県	
事業化 年度	昭和 46 年	用地着手 年度	昭和 49 年	工事着手 年度	昭和 56 年	再評価の 理由	再々評価	
費用便益比 B/C	1.77 [1.47]	総費用 (現在価値)	21.3 億円 [131.9 億円]	総便益 (現在価値)	37.6 億円 [193.8 億円]	基準年	平成 25 年	

(裸書き:残事業、[]:全体事業)

事業概要

(目的)

一宮川では、都市化の進展や農地整備による流出形態の変化、平成元年および平成 8 年の台風による大雨とが相まって記録的な大水害を受けたことから、2 度にわたる河川激甚災害対策特別緊急事業により、調節池の建設と河床掘削、堤防嵩上げ等を実施した。しかし、平成 25 年の台風により、浸水被害が発生しており、未だ、一宮川全体の治水整備目標に達していない状況にある。

また、流域内では、圏央道の開通によるアクセス向上に伴い、工業団地の整備が決定したほか、茂原駅前通り地区の土地区画整理事業が行われており、今後も流域の開発による流出増が懸念されるため、早急な治水安全度の向上を図る。

(主な実施内容)

改修延長 7,040m 掘削、浚渫工 1,717,000m<sup>3</sup> 築堤 13,320m 用地買収 160,390m<sup>2</sup>

事業の進捗状況

	全体計画 (億円)	投資事業費 (億円)	進捗率 (%)
全 体	109.0	87.1	79.9

社会経済情勢等

① 流域状況

本流域は、近年急速に都市化が進展しており、H6.9 には地方拠点都市地域に指定され今後の発展が期待されていることや、茂原市大芝土地区画整理事業他 3 地区の区画整理事業が進められ、流出量の増大が懸念されることから、早期の治水安全度向上が望まれている。

氾濫区域には、茂原市および一宮町の市街地を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい。

② 主な水害状況

- 平成 25 年 10 月 16 日 (台風 26 号)  
床上浸水 544 戸 床下浸水 622 戸 浸水面積 210ha
- 平成 8 年 9 月 22 日 (台風 17 号)  
床上浸水 1,118 戸 床下浸水 1,476 戸 浸水面積 1,260ha
- 平成元年 8 月 1 日 (台風 12 号)  
床上浸水 758 戸 床下浸水 1,702 戸 浸水面積 614ha

③ 投資効果

- ・浸水戸数 975 戸[1,956 戸] ・浸水面積 500 ha[811ha] (裸書き:残事業、[]:全体事業)

④ その他

(関連事業)

- ・地方拠点都市計画策定済 (H6.9.16)
- ・圏央道(首都圏中央連絡自動車道)

(地域の協力体制)

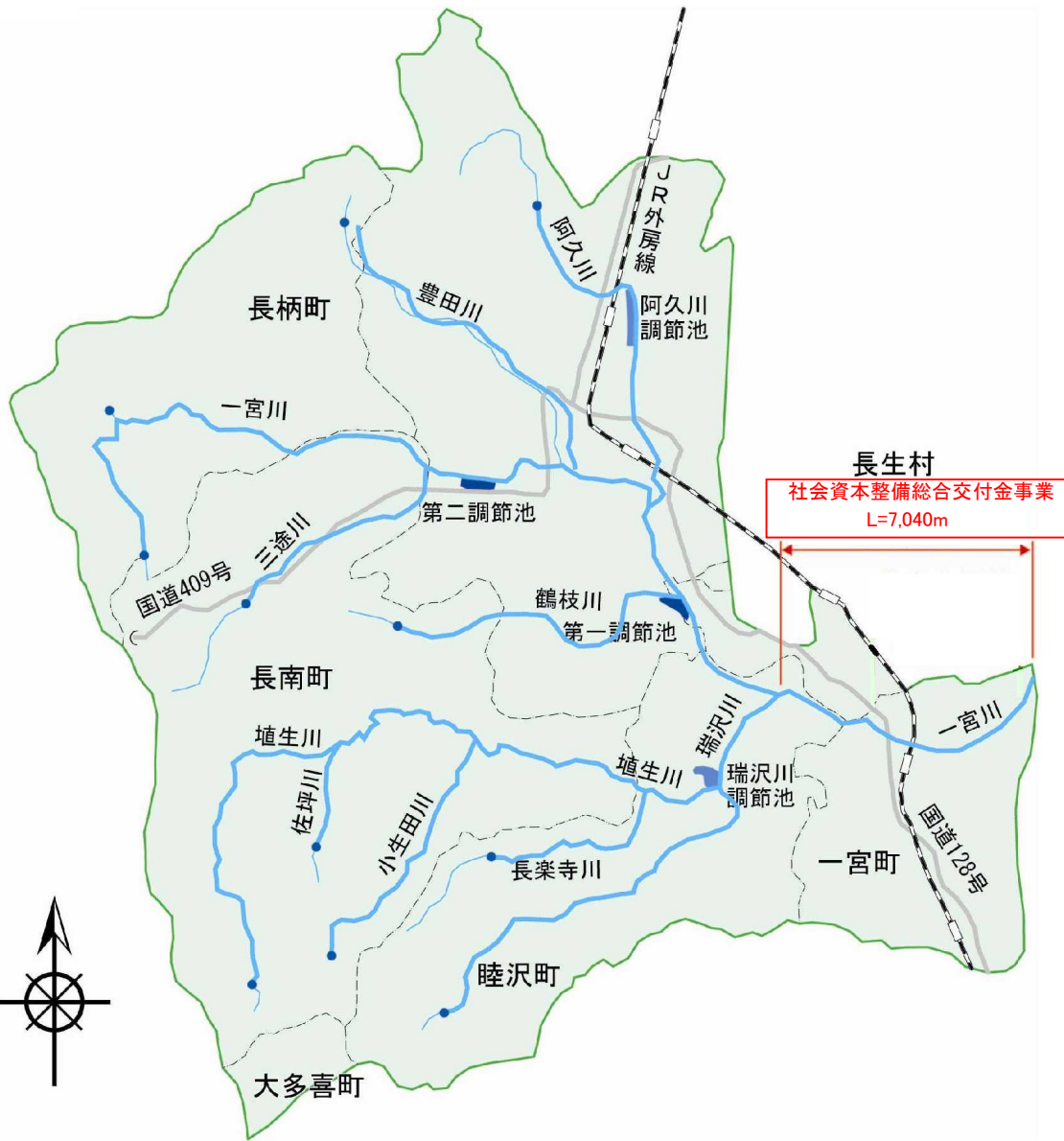
一宮川流域治水環境対策協議会、一宮川河川改修促進期成会

対応方針 (案) 事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

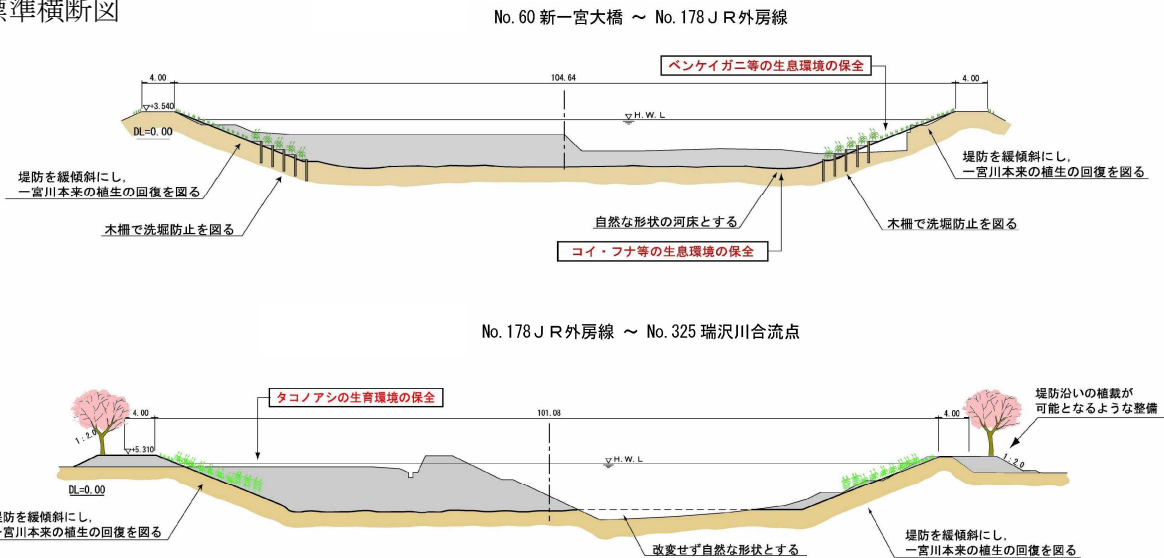
# 事業概要図

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川 一宮川水系 一宮川
----	---	-----	------	----------	-------------------

計画平面図



標準横断面図



再々評価事業に関する調書

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川 一宮川水系 一宮川	
事業化年度	昭和 46 年	用地着手年度	昭和 49 年	工事着手年度	昭和 56 年	

【再々評価 (H20 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 20 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続
B/C	1.50	総費用	58.5 億円	総便益	88.0 億円

再評価時の委員会の意見及び当時の状況  
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H20)
事業費	235.3 億円	70.0 億円 (29.7%)
うち用地補償費	114.0 億円	35.0 億円 (30.7%)
うち工事費	121.3 億円	35.0 億円 (28.8%)

【再々評価 (H25 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続
B/C	1.77 [1.47]	総費用	21.3 億円 [131.9]	総便益	37.6 億円 [193.8]

( 裸書 : 残事業、[ ] : 全体事業 )

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H25)
事業費	109.0 億円	87.1 億円 (79.9%)
うち用地補償費	41.3 億円	40.0 億円 (96.9%)
うち工事費	67.7 億円	47.1 億円 (69.6%)

再評価後の  
経過  
及び  
処理状況

平成 21 年 3 月 第 8 回一宮川流域委員会 再評価 (継続が妥当である)